

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	3年	
教科等名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	A組	
ねらい		・規則正しい生活リズム、学習に取り組む態度を身に付ける。 ・係活動や自己の役割に責任をもって取り組み、自己肯定感を高める。 ・目標をもって活動に取り組む、充実感や達成感を味わい、将来の生活に繋げる。				
担当教員		○中村 妙 正司 一貴				
年間授業時数		35				
使用教科書						
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 7	・3年生の生活について (オリエンテーション) ・新入生を迎えて ・個人目標決め、係活動確認 ・現場実習について ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方	11		・高等部生活の流れやルールについての確認 ・新入生歓迎会 ・個人目標や学級目標、係活動等を決めることや掲示物を作ること ・現場実習について知ること ・目標等、1学期の学校生活の振り返り、夏休みの過ごし方	・高等部生活の流れを知ることができる。 ・学校生活の基本的なルールを覚えることができる。 ・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、継続的に取り組むことができる。 ・現場実習について知り、目標や持ち物を覚えることができる。 ・現場実習で取り組んだ活動を振り返ることができる。 ・目標がどれくらい達成できたか等を視覚支援等で振り返ることができる。 ・夏休みの目標を決め、健康で安全な生活を送ることができる。	・視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉で、生徒自身のやる気や言葉を引き出せるように支援する。 ・目的を意識させ、繰り返し指導する。 ・目標等の達成度を生徒自身が理解できるような言葉や表示の選択肢を提示する。
9 12	・個人目標決め、係活動確認 ・現場実習について ・2学期を振り返って ・冬休みの過ごし方	14		・個人目標や学級目標、係活動等を決めることや掲示物を作ること ・現場実習について知ること ・目標等、2学期の学校生活の振り返り、冬休みの過ごし方	・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、継続的に取り組むことができる。 ・現場実習について知り、目標や持ち物を覚えることができる。 ・現場実習で取り組んだ活動を振り返ることができる。 ・目標がどれくらい達成できたか等を視覚支援等で振り返ることができる。 ・冬休みの目標を決め、健康で安全な生活を送ることができる。	・学校生活、社会生活における基本的なルールを事前に生徒自身と確認する。 ・行事等の活動を通して、自分を大事にし、周りの人と協力し合えるような雰囲気づくりをしていく。 ・タブレット端末を用いて活動の内容を分かりやすく提示する。
1 3	・個人目標決め、係活動確認 ・主権者教育 ・3学期を振り返って ・3年間を振り返って ・卒業に向けて	10	○	・個人目標や学級目標、係活動等を決めることや掲示物を作ること ・選挙の基本や仕組みを知ること ・目標等、3学期の学校生活の振り返り ・目標の達成度や今後の課題について考え、発表すること ・3送会練習	・目標を決め、意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、継続的に取り組むことができる。 ・投票の方法を知り、取り組むことができる。 ・目標がどれくらい達成できたか等を視覚支援等で振り返ることができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか等を振り返ることができる。 ・卒業後の流れを知り、全体的なイメージをもつことができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部			学 年	3年		
教科等名	特別活動(ホームルーム活動)			グループ名	B組		
ねらい	・仲間との関わりを通して、友達と協力し合う力を伸長する。 ・様々な活動や話し合いを通して、自己を見つめたり、他者と認め合ったりして視野を広げる。 ・学校の活動や現場実習等の進路行事の内容を確認し、目標をもって取り組むことができるようにする。						
担当教員	○中西 弘樹 柳 早苗 高田 京子						
年間授業時数	35						
使用教科書							
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
4	・オリエンテーション ・学級目標決め ・1学期の個人目標 ・係活動決め	11	○	・高等部の生活のルール の再確認 ・個人目標、学級目標、係 決め	・学校生活のルールなどを再度確認 し、意識することができる。 ・目標、役割に見通しをもつこと ができる。 ・自分の考えを伝えること ができる。	・タブレット端末を使用し、視 覚的な支援を適宜取り入れる。	
5	・現場実習に向けて ・現場実習の振り返り			・行先、持ち物、活動内容 の確認、日誌記入 ・お礼状書き	・現場実習について知り、活動内容、 ルールを覚えて主体的に取り組もうと する意識を高めること ができる。 ・現場実習を振り返り、次回現場実習 に向けた課題を見出すこと ができる。	・活動量、活動時間 を明確にし、見通しを もって活動できるよ うにする。	
6							・個人目標を継続的 に意識して取り組め るように、定期的に自 己評価する時間を設 ける。
7	・1学期を振り返って ・夏休みの過ごし方			・目標など、1学期の学校 生活の振り返り ・夏休みの過ごし方	・目標が達成できたか、できるように なったこと、頑張ったことなどを振り返 ることができる。 ・夏休みの過ごし方の留意事項を確認 することができる。	・話し合い活動や、発 表の機会を多く取り 入れて、自分の考え を伝えたり友達の見 聞いたりする場 面を設ける。	
9	・夏休みの振り返り ・2学期の個人目標	14	○	・個人目標、係決め ・活動内容の確認や目標 決め、振り返り	・目標、役割に見通しをもつこと ができる。 ・自分の考えを伝えること ができる。	・進路に関する取り組 みは、進路専任の教 員と連携して、職業 の学習と関連させた 指導内容にする。	
10	・現場実習に向けて ・現場実習の振り返り			・行先、持ち物、活動内容 確認、日誌記入 ・お礼状書き	・現場実習について知り、活動内容、 ルールを覚えて主体的に取り組もうと する意識を高めること ができる。 ・現場実習を振り返り、今後の課題を 見出すこと ができる。	・筆記をする活動で は、生徒の実態に応 じて、タブレット端末 を利用する。	
11							・活動や実態に応じ て、集団と個別での 活動を併用していく。
12	・2学期を振り返って ・冬休みに向けて			・目標や、2学期の学校生 活の振り返り ・冬休みの過ごし方	・目標が達成できたか、できるように なったこと、頑張ったことなどを振り返 ることができる。 ・冬休みの過ごし方の留意事項を確認 することができる。		
1	・冬休みの振り返り ・3学期の個人目標 ・係活動決め	10	○	・3学期の個人目標、係決 め	・目標、役割に見通しをもつこと ができる。 ・自分の考えを伝えること ができる。	・活動を通して友達と 協力し合うことや友達 の良い所を認め合う ような学習を適宜、取 り入れていく。	
2	・選挙について知る (主権者教育)			・選挙の仕組み、投票まで の流れ、話し合い	・投票までの流れを知り、選挙につい て考えること ができる。	・学期末のまとめ活動 で、頑張ったことを発 表することで、自己肯 定感や自己理解力、 他者理解力が高まる ようにする。	
3	・3学期を振り返って ・卒業後に向けて			・目標や、3学期の学校生 活の振り返り ・卒業式や卒業後の生活 について	・目標が達成できたか、できるように なったこと、頑張ったことなどを振り返 ることができる。 ・卒業式や卒業後の生活について、イ メージをもつこと ができる。		

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	3年		
教科等名	特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	C組		
ねらい	・適切なコミュニケーション方法を身に付け、良好な人間関係を築く。 ・課題から目標を考え、改善しようとする態度を身に付ける。 ・係活動を通して役割や責任を果たす気持ちを伸長する。					
担当教員	○尾上 真理子 甲斐 琢也					
年間授業時数	35					
使用教科書						
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 7	・3年生の生活についてオリエンテーション ・新入生歓迎会 ・現場実習について ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方	11	○	・3年生の学校生活の流れやルールについて ・個人目標、学級目標、係活動決め、掲示物の作成 ・発表練習 ・実習先の確認、目標決め、振り返り ・1学期の学校生活の振り返り ・夏休みの過ごし方について	・学校生活の基本的なルールを確認することができる。 ・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、継続的に取り組むことができる。 ・協力して発表ができる。 ・実習先について知り、目標や持ち物、経路について確認する、覚えることができる。 ・実習について振り返ることができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか等を自分で振り返るできる。 ・基本的な留意事項を確認することができる。	・タブレット端末を活用し、視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉を提示しながら生徒自身の意思や言葉を引き出せるように支援する。
9 12	・目標決め、係活動確認 ・現場実習について ・2学期を振り返って冬休みの過ごし方	14	○	・個人目標、学級目標、係活動決め、掲示物の作成 ・実習先の確認、目標決め、振り返り ・2学期の学校生活を振り返り、冬休みの過ごし方について	・目標を決め、目的をもって行動することができる。 ・係活動を決め、確実に取り組むことができる。 ・実習先について知り、目標や持ち物、経路について確認する、覚えることができる。 ・実習について振り返ることができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか等を自分で振り返ることができる。 ・基本的な留意事項を確認する。	・実習先を知るために、タブレット端末を利用する。 ・自分の得意なこと、苦手なこと等を客観的に捉えることを繰り返し、指導する。 ・目標等の達成度を生徒自身が理解できるような言葉や表示の選択肢を提示する。
1 3	・目標決め、係活動確認 ・選挙について(主権者教育) ・3送会練習 ・3学期を振り返って卒業後に向けて	10	○	・個人目標、学級目標、係活動を決め、掲示物の作成 ・選挙の意義や仕組みについて ・発表練習 ・3学期の学校生活の振り返り ・目標の達成度や今後の課題について ・卒業式、卒業後の生活について	・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、主体性をもって取り組むことができる。 ・自分の生活に関わることとして、選挙について意識することができる。 ・責任をもった選択ができるようになる。 ・役割を理解し協力して取り組むことができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか、どうしたら達成できるかを自分で考えることができる。 ・社会人になったら挑戦してみたいこと等、具体的な目標を考えることができる。	・学校生活、社会生活における基本的なルールを事前に生徒自身と確認する。 ・行事等の活動を通して仲間と協力し合うことや仲間の良い所を認め合うような学習を適宜、取り入れていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	3年	
教科等名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	D組	
ねらい		・仲間との関わり合いを通して、仲間と協力する態度を育てる。 ・自分の役割を意識し、責任をもって取り組む態度を育てる。 ・卒業後の見通しをもって生活することで、意欲的に自らの進路について考える。				
担当教員		○萩野 美咲 臼井 雅				
年間授業時数		35				
使用教科書						
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	・3年生の生活について、目標決め ・委員会活動決め	14	○	・学校生活の流れやルールについて ・個人目標や学級目標、所属する委員会等を決め、掲示物を作る	・学校生活の基本的な流れが分かる。 ・目標を決め、目的意識をもって行動できる。 ・所属委員会を決め、継続的に取り組むことができる。	・タブレット端末を活用し、写真や動画等、視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉を提示しながら生徒自身の意思や言葉を引き出せるように支援する。
5	・1学期の行事や現場実習に向けて ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方			・実習先の確認や目標を決め、振り返り ・新入生歓迎会の練習	・現場実習について知り、目標や持ち物が分かる。 ・現場実習について振り返りができる。	
6				・1学期の学校生活を振り返り ・夏休みの過ごし方について	・目標が達成できたか、なぜできなかったか等を自分で振り返りができる。 ・基本的な留意事項を確認することができる。	
7						
9	・2学期の目標決め	11	○	・2学期の個人目標を決め、掲示物を作る	・目標を意識して、学校生活を過ごすことができる。	・自分の得意なこと、苦手なこと等を客観的に捉えることを繰り返し、指導する。 ・目標等の達成度を生徒自身が理解できるような言葉や表示の選択肢を提示する。 ・学校生活、社会生活における基本的なルールを事前に生徒自身と確認する。
10	・2学期の行事や現場実習に向けて ・2学期を振り返って冬休みの過ごし方			・取り組み内容の確認 ・役割分担を話し合って決める ・現場実習先の確認と目標の設定	・活動内容、自分の役割を理解し、協力して取り組むことができる。 ・現場実習へ見通しを持つことができる。 ・今後の課題を明確にし、学校で意識して生活することができる。	
11				・2学期の学校生活を振り返り ・冬休みの過ごし方について	・目標が達成できたか、なぜできなかったか等を自分で振り返ることができる。 ・基本的な留意事項を確認することができる。	
12						
1	・3学期の目標決め	10	○	・3学期の個人目標を決め、掲示物を作る	・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。	・行事等の活動を通して仲間と協力し合うことや仲間の良い所を認め合うような学習を適宜、取り入れていく。
2	・選挙について(主権者教育)			・選挙の意義や仕組みを知る	・自分の生活に関わることとして、一票の重みについて意識することができる。	
3	・3学期を振り返って卒業後に向けて			・3年生を送る会の練習 ・目標等、3学期の学校生活を振り返る ・目標の達成度や今後の課題について考え、発表する ・卒業後の生活について	・目標が達成できたか、なぜできなかったか、どうしたら達成できるかを自分で考えることができる。 ・社会人になったら挑戦してみたいこと等、具体的な目標を考えることができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。